

学校運営協議会 議事録

校名	府立城東工科・東大阪みらい工科高等学校
(准)校長名	中谷 竜也

開催日時	令和 7年 10月 29日(水) 14:15 ~ 15:30
開催場所	本校2号棟4階 視聴覚室
出席者(委員)	山田 会長、山田 委員、岡本 委員、大石 委員、渡邊 委員
出席者(学校)	中谷校長、三谷教頭、宇井教頭、福本事務長、他12名
傍聴者	
協議資料	『工業高校の現状について』、『進路の状況について』、 『令和7年度学校教育自己診断アンケート』、『令和8年度使用教科用図書選定理由書』、 『国際交流活動の報告2025』、『入学生アンケート結果まとめ』、『令和10年度以降の公立高等学校入学者選抜に係る学校特色枠について』
備考	

議題等(次第順)

- ①工業高校の現状について
- ②令和7年度 進路状況について
- ③令和7年度 学校教育自己診断アンケート
- ④令和8年度 選定教科書一覧
- ⑤国際交流活動の報告2025
- ⑥新入生アンケート結果【再報告】
- ⑦令和10年度以降の公立高等学校入学者選抜に係る学校特色枠について
- ⑧その他

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- 主な報告・説明内容 ■承認、意見等
- ①工業高校の現状について
 - 全国的な生徒数、学校数など、工業高校に関するデータを紹介、説明
- ②進路状況について
 - 3年生の進路(就職、進学)状況を説明
- ③学校教育自己診断アンケートについて
 - 先生方の回答率100%をめざしてよろしくお願ひします。
 - 「学校の中で、親友と呼べる友達はいますか」や、人間関係に関する内容を追加してみてはどうか。
- ④令和8年度 選定教科書一覧表 について
 - 承認
- ⑤国際交流活動の報告2025 について
 - 4年間の国際交流やユネスコスクールの認定をめざして取り組み、今年度6月にユネスコスクールとして認定(東大阪みらい工科高校)
 - 東大阪みらい工科高校が認定され先生方の努力が実られたことへの感謝
- ⑥新入生アンケートについて【再報告】
 - 第1回に報告した資料に追加して、工学系のアンケート結果について説明
- ⑦令和10年度以降の公立高等学校入学者選抜に係る学校特色枠について
 - 公立高校の選抜・アドミッションポリシーなど入試について、前回よりわかりやすくまとめられている。
 - 中学校の先生は、工業高校ではどんな勉強をしているのかわからないことが多い。
 - 半年でもいいから府の政策 として工業高校で研修してもらえばと思います。
- ⑧その他
 - 城工房については、今後どうなっていくのか。
 - 玩具修理は新規で受け付けておらず、活動の名称は変わってしまうが今後はドローン等を活用して地域貢献をしていく予定

【全体的な内容について、各委員からのご意見】

- 普通科にいきたいから工業高校に来る生徒もいる中で、実業高校の立ち位置をあげられないのかと思います。
- 工業高校にいきたいと思われるよう、中学校の先生や保護者を巻き込んでいく必要がある。
- 奨学金を借りている学生は、大阪産業大学でも60%を超えてる。

- 簡単に大学へいけという時代、行きたい大学と行ける大学は違う。
- 工業高校で技術を身に付けて社会に飛び出していくんだという高校の舞台を変えていく必要がある。
- 2年後、東大阪市には本校だけになることから、東大阪市から市政だよりなど、アピールしてもらえれば効果があるのではないか。先生たちの努力というよりか、社会が変わっていいかないといけないので？小学校の授業の中でものづくりの楽しさを伝えいけたら良いのでは？
- 子供が少なく、進学志向が高まっている現状において世界的な有名企業に高卒からいけるというPRをしてみてはどうか。
- 東大阪みらいに行ったら、東大阪にある技術力をもった有名な企業に就職できるということや都市住宅系ができたので建築関係の求人も増えることなどもPRできるのではないか。
- 全ての学校が抱える問題ですが、寝屋川高校が定員割れするなか、私立の無償化があげられる。
- 韓国の高校さんとの交流や、尖った特色を作っていくことについて、この学校へ行くと楽しそうと思えるような内容を検討してほしい。
- 創造的なものづくり、中学校で困っていることを手助けする、中学校の先生や生徒にも工業高校や社会にもわかつてもらい、特色を尖らせた内容について委員会を作って考えていけばよいのでは？内容に戦略を立てて広報PR内容を考えてほしい。

次回の会議日程

日時	令和8年 1月 16日(金)13:00~
会場	本校 視聴覚室(2号棟4階)